

ちとせ・まち魅力検定
2018年 マスター
問題用紙

平成30年2月18日

ちとせ・まち魅力検定実行委員会

問題1 次の文を読んで問いに答えなさい。

千歳の市域は、東西に細長く（ 1 ）が羽を広げるような形をしています。面積は（ 2 ）とほぼ同じ広さです。

千歳には、西部にアイヌ語の頭のとがった岩山の意味から名付けられた（ 3 ）や頂上にプリン型の溶岩円頂丘ようがんえんちようきゅうがある（ 4 ）などの1千メートル級の山々が連なり、東部の幌加地区には（ 5 ）の丘と呼ばれる波状丘陵地帯はじょうきゅうりょうちたいがあるなど、東と西の標高が高く、中央部が低い地形となっています。この地形により風向きは年間を通してほぼ一定している特徴があり、①新千歳空港や航空自衛隊千歳基地の滑走路は風向きに合わせて（ 6 ）方向に平行に設けられています。

千歳市西部にある②支笏湖は、広く、深く、そして水のきれいな湖です。③支笏湖から流れ出る千歳川は水量が豊かで、水がとてもきれいな川です。④上流には発電所が設けられ、秋になるとたくさんのサケが遡上そじょうします。

このサケは通称「（ 7 ）」と呼ばれる捕魚車で捕獲された後、上流のふ化場（現在の「国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所千歳さけます事業所」）でふ化事業が行われ、毎年およそ（ 8 ）千万尾の稚魚が放流されています。⑤大正15年には鉄道を利用してこのサケのふ化場を見学する観楓会かんふうかいが行われ、村民により整地された着陸場に酒井憲次郎が操縦する「（ 9 ）第1号機」が着陸しました。

千歳は自然が豊かな地域です。市街地に隣接し、第2種自然環境保全地区に指定されている「（ 10 ）公園」では、豊かな自然の中で散策やスポーツを楽しむことができます。また、千歳市の西部は「（ 11 ）国立公園」の一部になっていて、（ 12 ）湖周辺は、特にすぐれた自然景観や原始状態を保持する地区で、もっとも厳しく行為が規制される自然保護法の（ 13 ）地区に指定されています。

（ 14 ）では、⑥苔の洞門の実物大の写真パネルの展示があり、支笏湖周辺の自然や歴史などを学ぶことができます。

問1 （1）から（14）にあてはまる語句を書きなさい。（各2点）

問2 下線①の空港と基地の滑走路の本数をそれぞれ書きなさい。（完全解答2点）

問3 下線②の支笏湖の広さ、深さ、水について、次の表にあてはまる数字を書きなさい。（完全解答2点）

	面積	最大水深	貯水(容量)
支笏湖の全国順位	第（ ）位	第（ ）位	第（ ）位

問4 下線③の支笏湖から流れ出る千歳川に沿って、ウサクマイから支笏湖畔に到達し、対岸に渡り1泊したと、安政4年に書かれた「夕張日誌」に記録を残した人物名を漢字で書きなさい。(2点)

問5 下線④の千歳川上流に王子製紙株式会社が設置している発電所の数を書きなさい。(2点)

問6 下線⑤の観楓会を実施した当時の会社の名称を書きなさい。(2点)

問7 下線⑥の苔の洞門についてもっとも適当なものを記号で答えなさい。(2点)

- ア 63種の苔の仲間が確認されている。
- イ エゾチョウチンゴケがもっとも広い面積を占めている。
- ウ 風不死岳の噴火で流れた溶岩が浸食されてできた。
- エ モラップ地区の国道276号沿いに入り口がある。

問題2 次の文を読んで問いに答えなさい。

千歳は働く場が多いまちです。①平成26年に実施された経済センサス(基礎調査)では、市内の事業所数は3,269事業所、従業員数は50,231人となりました。事業所では、千歳オフィス・アルカディアには北海道最大級のアウトレットモールがあり、千歳美々ワールドには国内最大級の(1)事業所が集中しています。

問1 (1)にあてはまる語句を書きなさい。(2点)

問2 下線①の平成26年の千歳市内の事業所の状況についてもっとも適当なものを記号で答えなさい。(2点)

- ア 事業所数は前回(平成21年)の調査と比較して増となった。
- イ 宿泊・飲食サービス業の事業所数の構成比は北海道内構成比を上回る。
- ウ 製造業の従業員数の構成比は北海道内構成比を下回る。
- エ 「公務(他に分類されないもの)」従業員数は全体の約30パーセントを占める。

問題3 次の文を読んで問いに答えなさい。

千歳市は空港があり、鉄道や高速道路が結ばれた交通の便が良いまちです。

新千歳空港には（ 1 ）メートルの滑走路があり、その航空管制は西側にある千歳基地の滑走路とともに航空自衛隊（ 2 ）隊が行っています。平成6年に国内初の（ 3 ）空港となり、平成18年には千歳－羽田間の年間利用者が単一路線として国内で初めて（ 4 ）万人を突破しました。

鉄道では①JRの駅別乗車人数が道内上位10位以内に入る駅が2駅あるなど鉄道利用者が多い特色があります。

道路では道内初のものが3つあります。それは、②昭和27年にはじまった工事でアスファルト舗装が採用された郊外道路、昭和42年開通の有料道路である「（ 5 ）有料道路」、③昭和46年に北海道縦貫自動車道（道央自動車道）の一部として開通した高速幹線自動車道です。千歳は道内では比較的降雪が少ないまちですが、新雪除雪は積雪が（ 6 ）センチメートル以上となり、交通障害が予想される場合に実施され、生活道路の除雪はおおむね午前（ 7 ）時を道路開放の目標時間としています。

こうした交通の便の良さなどから、千歳は工業が盛んです。昭和39年には道内初の自治体による市営工業団地として（ 8 ）の造成が行われ、昭和47年には道内初の（ 9 ）方式による工業団地が造成されました。製造品出荷額は増加を続け、平成26年工業統計調査結果では全道35市中、第（ 10 ）位になりました。その出荷額の4割は（ 11 ）型産業が占めています。

また、④農業では、農業基盤整備をもとに大規模経営と近代化を進め、石狩管内第1位の生産額を誇る農業生産地帯となっています。

問1 （1）から（11）にあてはまる語句を書きなさい。（各2点）

問2 下線①の駅別乗車人数が道内10位以内に入る千歳市内の駅名を2つ書きなさい。（完全解答2点・順不同）

問3 下線②の道路が開通当時に呼ばれていた名称を書きなさい。（2点）

問4 下線③の高速幹線自動車道が昭和46年に開通した区間を書きなさい。（完全解答2点・順不同）

問5 下線④の平成28年の生産量が多い順に記号で答えなさい。(2点)

ア 小麦 イ 水稲 ウ 大豆 エ てん菜

問題4 次の文を読んで問いに答えなさい。

①千歳市は人口が増えているまちです。市では、平成27年に「千歳市移住・定住促進プロジェクト」を策定し、平成32年度の人口目標を(1)人としています。

市は安全・防災を重点施策に掲げ、災害に強いまちづくりを目指しています。千歳市の東側には直下型地震の原因となる(2)と呼ばれる活断層が存在し、西側の(3)では気象庁の火山観測施設により24時間体制で観測・監視されています。防災力の向上のため、毎年、②防災学習交流センター「そなえーる」を会場に「千歳市(4)」が行われ、市民と協働して町内会などの「(5)組織」の結成が進められているほか、防災講座として、地域の地図を使用して災害が起きたことを想像して災害時の対応を学ぶ(6)や避難所の運営を図面上で模擬体験する(7)が行われています。また、災害や火災に対応するため、市内には③消防が1署5出張所、1団本部8分団が設置されています。

千歳は2つの陸上自衛隊駐屯地と1つの航空自衛隊基地が所在するまちです。災害が発生したときは、東千歳駐屯地内の第(8)隊が災害派遣を担当することになっています。また、千歳飛行場周辺の航空機騒音を軽減するために防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づき、これまで国により2万戸を超える住宅の(9)工事が行われています。

問1 (1)から(9)にあてはまる語句を書きなさい。(各2点)

問2 下線①の千歳市の人口についてもっとも適当なものを記号で答えなさい。(2点)

- ア 人口に占める自衛隊員とその家族の割合は約35パーセントとなっている。
- イ 労働力人口では第3次産業が約88パーセントを占めている。
- ウ 国勢調査では開始以来、男性の人口が女性の人口を上回っている。
- エ 転出と転入はそれぞれ年間約3千人前後ある。

問3 下線②の防災学習交流センター「そなえーる」の4つの体験コーナーを「避難器具体験」と「通報体験」の以外に2つ書きなさい。(完全解答2点・順不同)

問4 下線③の消防の5つある出張所名をすべて書きなさい。(完全解答2点・順不同)

問題5 次の表の（1）と（2）にあてはまる語句を選択欄から選び、記号で答えなさい。（完全解答2点）

	持ち家率（平成27年現在）	（2）（平成29年3月現在）
千歳市	（1）	98.3%
道内平均	56.0%	90.7%

選択欄

- ア 48.6% イ 53.6% ウ 58.6% エ 63.6%
 オ 市税収納率 カ 下水道普及率 キ 道路舗装率 ク 学校耐震化率